



周南市立 新南陽市民病院だより

vol. **41**
2023年1月

電話：0834-61-2500 FAX：0834-61-2501

メールアドレス：renkei@city-hp.or.jp ホームページ：http://www.city-hp.or.jp



新南陽市民病院の基本理念

市民に
奉仕する
医療

1. 市民のための「地域病院」であること
2. 医療及び健康を求める全ての人々に親しまれる「開かれた病院」であること
3. 健康・福祉との連携にも積極的に寄与し、「市民コミュニティ」を形成すること
4. 病院も進歩と変化に対して、発展し、成長し続ける「伸びゆく病院」であること

目次

Contents

新年のご挨拶 地域連携だより	②
看護部だより 中央部だより	③
老健だより 薬剤部だより	④
糖尿病食レシピ 医事統計	⑤
外来診察一覧表	⑥

新南陽市民病院の特徴

当院の管理運営は「公設民営方式」で、指定管理者制度に基づき、公益財団法人周南市医療公社に委託され、自治体の「信用力」と民間の「柔軟性・機動性・経済性」を活かしながら、管理運営を行っています。

また、施設医療環境面においては、外来診療機能部門の集中、病室の快適な居住性や診断精度の高いMRI、マルチスライスCT、血管造影装置など最新の機種を備えています。



新年の ご挨拶



周南市医療公社 副理事長
周南市立 新南陽市民病院
病院長

松谷 朗

明けましておめでとうございます。

まさか今年までコロナが持ち越されるとは思ってもみませんでした、と昨年書いたことがまた繰り返されるとは思ってもみませんでした。

昨年はカタール大会でサムライ・ブルーの活躍が話題となり、我々もずいぶん元気をもらいました。一方では年始早々某国のウ侵攻があり、世界中を仰天させました。某国のリーダーは狂っているのではないかと考える人が多いと思います。しかし、イスラエルの歴史学者ハラリ教授の『サピエンス全史』を読むと、実は人類の歴史では世界の至る所で同様の事が繰り返されてきたことに気付かされます。要は自分の考えが全て正しい、他人もそう考えるべきだと考えるのは危ういという事です。我が国のトップもようやくそれに気がついてくれたようで、慌てて備えを開始しました。

このようにホモ・サピエンスの宿命を考えた時、我々は医療においても、独善的にならずに、第三者目線で診療や事業の展開をしていく必要がある事に気がつかなくてはなりません。コロナに対しても、医療公社の将来計画にしても、しっかりと慎重に準備をしつつも、時には脱兎のごとく行動することも必要でしょう。

本年が皆様にとって最良の年となるように祈念致します。ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域連携

だより



地域連携・
入退院支援センター
三好 恵

令和4年度から、さらなる地域医療連携の強化に向け、「地域連携・入退院支援センター」へと体制を変更して運用しております。患者様が適切な治療期間で安心して退院できるよう、入院前から退院支援を開始させていただき、患者様の生活環境・社会資源の活用状況などを確認しています。入院

時カンファレンスでは、退院困難な要因を速やかに抽出し、多職種で退院に向けた支援計画を作成しています。

DPC制度による入院期間の短縮が推奨されるなか、治療後の予測される退院先、サービス利用を見据えた看護が求められます。そのため各部門と連携を図り、患者様、ご家族にとって、望ましい退院先、療養先が検討できるよう尽力していきます。今後も地域の中核病院として「市民に奉仕する医療」を基本理念とし、努力していきたいと考えております。



看護部

だより



11月14日は「世界糖尿病デー」でした。当院でも地域の方々に糖尿病の理解を深めていただくために、11月11日から18日まで糖尿病週間行事が開催されました。昨年に引き続き院内でのパネル展示、糖尿病食の展示・栄養相談、血糖測定を行いました。広報を見て参加される方や熱心に相談を受けられる方が多数おられ、

糖尿病に対する関心の高さを感じました。

社会における糖尿病の知識不足、誤ったイメージの拡散により糖尿病を持つ人は「特定の属性に対して刻まれる負の烙印＝スティグマ」（社会的偏見による差別）にさらされています。スティグマを放置すると個から社会全体のレベルまで様々な影響を及ぼします。糖尿病の正しい理解を促進する活動を通じて、糖尿病を持つ人が安心して社会生活を送ることができる社会形成を目指す活動はアドボカシー活動と言われます。

その一助になれるよう当院でも市民の皆様には糖尿病の情報発信を続けていきたいと思っております。



CTが更新されます。

2008年7月から15年間運用してきたCTが更新されます。2023年2月より運用開始するCTの紹介です。



中央部

だより

メーカー装置名 キヤノンメディカル Aquilion Serve

新しいCT装置の特長

1 CT検査をサポートする先進の自動化技術

CT装置の高性能化が進む一方で、CT検査に求められる検査内容も多様化しており、安定した検査を提供するためには目的に応じた適切なオペレーションが必要になります。CT検査の一連の流れで自動化技術を採用し、多様なCT検査をサポートします。

2 さまざまな画像再構成技術

CT検査における被ばく線量の低減と高品質画像の提供に貢献します。

- AiCE-i (ディープラーニングを用いて設計された再構成技術)
- SEMAR (金属アーチファクト低減再構成)

3 多様な検査に対応できる機能

- 陽極熱容量5MHUのX線管球は、0.35秒/回転のスキャンが可能で短時間撮影が求められる救急の現場や、高い時間分解能が求められる心臓CT検査においても有効で、この1台でさまざまな検査に対応します。
- 800mm Wide Bore 大開口径により高齢や病態によって動きが制限される患者さんにおいても、柔軟な検査環境を提供します。
- ガントリタッチパネル 寝台操作のほか、患者情報や心電波形情報などの表示、呼吸練習、呼吸指示アニメーションによる検査説明などが可能です。



老健

だより



『ゆめふみ』



「コロナ禍」という言葉が定着した日常の中、感染対策に取り組みながら施設で出来るイベントを工夫し実施してきました。コロナ以前は面会や家族会などのイベントを通じご利用者様の様子をご家族へ伝えることが出来ましたが、現在はその機会が減ってきています。

そこで、ご利用者様が施設で過ごしている様子をご家族へ伝える為、昨年より「ゆめふみ」という便りの作成に取り組んでいます。ご利用者様ごとに作成し、笑顔の写真と共にその方の生活やリハビリの様子を記し、ご家族へお渡します。

ご家族からは「楽しそうね、家では見たことない表情ね。」「コロナもあって、なかなか会いに来られない遠方の親族にも便りのコピーを送って様子を伝えました。」などの声を頂いています。

いつかコロナが落ち着いたら…という言葉で出来ないことばかりを考えるのではなく、「コロナ禍」の中で、「今」出来ることを考え、工夫し提供出来るようこれからも職員一同取り組んでまいります。



介護士
久保 人士

薬剤部

だより



コロナ禍で頻回の手洗い消毒や長時間のマスク生活となり、肌トラブルに悩む方は多いのではないのでしょうか。また、冬は気温の低下と乾燥により、トラブルを起こしやすいシーズン。冬本番となり、肌のケアをはじめましょう。

私達の肌を覆う表皮の最も外側にある角質層は、水分量を維持し外的刺激から肌を守るバリア機能を持っています。このバリアが弱くなると皮膚は乾燥し、痒みやかさつきを引き起こします。

バリア機能低下の原因としては、加齢・乾燥・紫外線によるダメージや摩擦による刺激・生活習慣の乱れなどが考えられます。

保湿剤の使用の目安は、軟膏・クリームは人差し指の先端から第一関節まで、ローションは1円玉位の大きさ＝約0.5g、これは成人の手のひら2枚分の面積に塗る量です。入浴の際は38℃ぐらいのお湯に15分程度つかり、手に泡をのせなでるように優しく洗いましょう。入浴後は水分が蒸発しやすいため10分以内には保湿をするとよいでしょう。



薬剤部
渡利 巴絵

糖尿病食 レシピ

～白和え～



材料:3人分	【1人分:66kcal 塩分0.7g】
●きぬごし豆腐	100g
●ほうれん草	150g(1袋)
●人参	20g(1~1.5cm幅)
*和え衣用	
●ねりごま	小2
●しょうゆ	小2
●砂糖	小1
●みりん	小1
●塩ひとつまみ	0.5g

作り方

- ① ほうれん草と人参をゆでる。
ほうれん草は3~4cm幅、人参は2~3mm厚さの千切りに。
- ② きぬごし豆腐はペーパータオルで包み重しをし、水気をきる。
- ③ すり鉢に②のきぬごし豆腐を入れ、なめらかにすりつぶす。
和え衣用の調味料を加えて混ぜ合わせる。
- ④ ほうれん草と人参を加えて和え、器に盛り付ける。

すり鉢で丁寧にすることで、とろとろでなめらかに仕上がります。
砂糖やみりんの糖分が気になる場合は人工甘味料で代用してください。

〔参考:栗原心平「ごちそうさまチャンネル」〕

医事統計

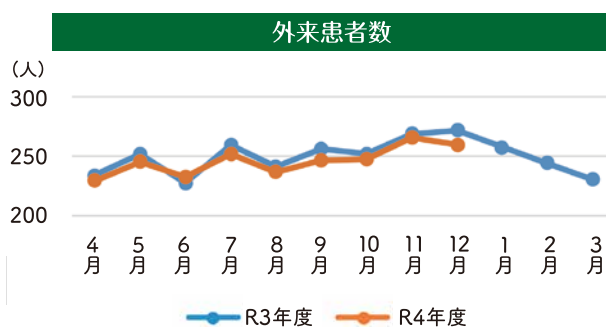
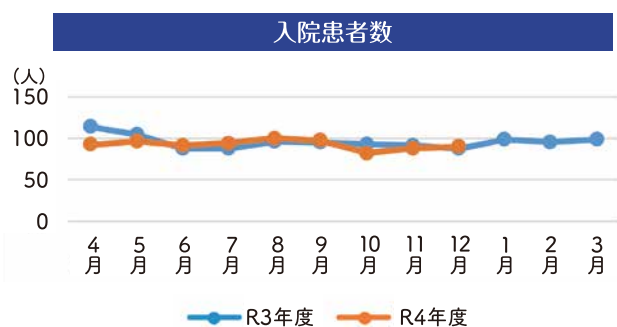
●月別平均在院日数 (単位:日)

	2021年度	2022年度	対前年度 (2022-2021)
4月	15.30	18.31	3.01
5月	19.68	19.0	▲0.68
6月	13.82	15.91	2.09
7月	17.10	15.95	▲1.15
8月	15.07	15.21	0.14
9月	15.08	21.55	6.47
10月	16.69	16.19	▲0.5
11月	16.74	14.60	▲2.14
12月	14.46	14.56	0.1
平均	15.99	16.8	0.81

●月別病床利用率 (単位:%)

	2021年度	2022年度	対前年度 (2022-2021)
4月	89.3	87.9	▲1.4
5月	87.0	91.6	4.6
6月	85.2	88.6	3.4
7月	85.5	87.7	2.2
8月	88.0	89.8	1.8
9月	89.7	90.2	0.5
10月	91.5	78.1	▲13.4
11月	91.5	82.3	▲9.2
12月	87.0	80.1	▲6.9
平均	88.3	86.26	▲2.04

●月別平均患者数推移グラフ



外来診察一覧表

土・日・祝日はお休みです。

内科受付		8:00～11:30		※月曜日/新開医師(消化器) 8:00～11:00		診察		9:00～	
科目			月	火	水	木	金		
内科	午前	1診	松谷 朗	廣重 俊典	松谷 朗	松谷 朗	廣重 俊典		
		2診	河野 正輝	田上 耕蔵	河野 正輝	田上 耕蔵	河野 正輝		
		3診	新開 泰司	松永 一仁	齋藤 真理	新開 泰司 (健診・院内紹介)	松永 一仁		
		4診	田上 耕蔵	明連 武樹	吉賀 康裕	明連 武樹	明連 武樹		
		5診	—	岡本 匡史	岡本 匡史 (予約再診のみ)	—	—		
		6診	—	佐々木 輝昌	—	齋藤 真理	岡本 匡史		
		健診	佐々木 輝昌	新開 泰司	新開 泰司	—	佐々木 輝昌		
	検査	消化器	松永 一仁 齋藤 真理	齋藤 真理	松永 一仁	松永 一仁	澤村 大樹 齋藤 真理		
		循環器	明連 武樹	河野 正輝	明連 武樹	河野 正輝	—		
	午後			頸動脈・ 甲状腺エコー			頸動脈・ 甲状腺エコー		

外科受付		(月・火・水・金) 8:00～11:30		(木) 8:00～9:30		診察		(月～金) 1診 9:00～		(金) 2診 10:00～	
科目			月	火	水	木	金				
外科	午前	1診	鈴木 道成	近藤 浩史	鈴木 道成	近藤 浩史	鈴木 道成				
		2診	—	—	—	—	近藤 浩史				

脳外科受付		8:00～11:30		診察		9:00～	
科目			月	火	水	木	金
脳外科	午前		藤井 康弘	藤井 康弘	藤井 康弘	森 尚昌	藤井 康弘

眼科受付		8:00～11:30		診察		9:00～	
科目			月	火	水	木	金
眼科	午前		新川 佳代	新川 邦圭	新川 邦圭	新川 邦圭	新川 邦圭

泌尿器科受付		8:00～11:30		診察		9:00～	
科目			月	火	水	木	金
泌尿器科	午前		河村 英文	—	—	河村 英文	河村 英文

整形外科受付		8:00～10:30		診察		9:00～	
科目			月	火	水	木	金
整形外科	午前		瀬戸 哲也	—	金岡 丈裕	黒川 陽子	鈴木 秀典

お問合せ

周南市立 新南陽市民病院

〒746-0017 山口県周南市宮の前2-3-15

電話：0834-61-2500 FAX：0834-61-2501

アクセス
マップ